

H20 全国A3一

【1】 中学校の国語の授業で、「情報化社会を生きる私たちに必要なこと」というテーマの意見文を書いています。目標は、「構成を工夫して、自分の意見を明確に述べること」です。今日の授業では、ほぼ完成した意見文をグループ内で読んで話し合い、それを参考にして自分の意見文を推敲することになりました。次の文章は、同じグループの小森さんと村上さんが書いた意見文です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【小森さんの意見文】

① 現代は、メールが普及し、便利になっている。昔に比べると、気軽に素早くメッセージをやりとりできる時代になった。しかし、私たちは、こうした伝達手段によって、お互いを深く理解し合っていると考えるだろうか。逆に不十分なメッセージによって、誤解が生まれるようなことさえあるのではないだろうか。

② 先日、友達からこんな話を聞いた。ちょっとしたことでもけんかをしてしまった仲の良い友達から「もう終わりにしようよ。」と書かれたメールが届いたのだそうだ。けんかをするのはもう終わりにして、また仲良くしようという意味なのか、もう友達づきあいは終わりにしようという意味なのか、悩んだと言っていた。

③ 手軽なメールは、確かに便利である。しかし、そのためにお互いに直接会って話し合うようなコミュニケーションが軽視されるのでは意味がないと思う。

①から③は、段落の番号を表します。

【村上さんの意見文】

情報があふれている社会で私たちに必要なものは、必要な情報を選択する力と、情報の正しさを判断する力だと思う。この二つの力がなければ、私たちは、情報に流されてしまうのではないだろうか。私には、一年生の時に失敗してしまった経験がある。夏休みの自由研究で「絶滅のおそれがある野生動物」というテーマのレポートを作成し、提出した。ところが、参考にしたインターネットのホームページの内容が正しいかどうか疑問だという指摘を先生からいただいたのだ。私は、改めてホームページを確かめてみた。すると、五年前から一度も更新されていないものや、地球上の一部の地域のことしか取り上げていないものがあった。情報を何も考えずに受け入れてしまうことは、とても危険である。情報をうのみにせず、本当に必要なものを選び、正しく判断できる力こそ私たちに求められているものなのだ。

○ 小森さんは、【村上さんの意見文】を読んで、自分の意見文の書き出しに次の一文を書き加えることにしました。

情報化社会と呼ばれる現代だからこそ、お互いに顔を合わせてのコミュニケーションを大切に作る気持ちが必要だ。

H23 全国A5二

このことから、小森さんが村上さんの意見文をどのように評価したことが分かりますか。次の1から4うち、最も適切なものを一つ選びなさい。

1 村上さんの意見文は、読み手に問いかけるように自分の体験を紹介しているため、読み手の共感を誘う点が良い。

2 村上さんの意見文は、多くの人が感じる疑問から書き始めているため、読み手が話題をとらえやすい点が良い。

3 村上さんの意見文は、身近な例を挙げて説明しているため、書き手の考えが読み手に具体的に示される点が良い。

4 村上さんの意見文は、結論を述べてから論を展開しているため、書き手の考えが読み手に明確に伝わる点が良い。

4 (答え)

【2】 国語の授業で、「大切にしていること」というテーマで文章を書いています。次は、青木さんが最初に書いた文章【A】と、それを読み返し、【2】段落を書き直した文章【B】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【A】

① 人にはそれぞれ大切にしていることがあります。私は、感謝の気持ちを大切にしています。

② 中学校二年生のときに転校してきて、環境の変化に戸惑う私を支えてくれたのは、友達の変化に戸惑う私を支えてくれたのは、友達の変化に戸惑う私を支えてくれました。優しく友達はいつも声をかけてくれました。優しく言葉をかけてくれる友達に支えられ、私は学校生活を送ることができました。

③ 人は、だれかに支えられて生きています。私がかけてくれた友達への感謝の気持ちを大切にしていること、それは、優しく言葉をかけてくれた友達への感謝の気持ちです。

【B】

中学校二年生のときに転校してきて、環境の変化に戸惑う私にとって、「困っていることはない？」と、いつも優しく声をかけてくれた友達の存在は大きな支えでした。そして、先日、「人は様々な人に支えられて生きていることを忘れてはいけません。」と、校長先生が全校集会で話されたのを聞きました。そのとき、転校生の私を気づかせてくれた担任の先生や、いつも見守ってくれていた家族など多くの人々がいたことにも改めて気づきました。

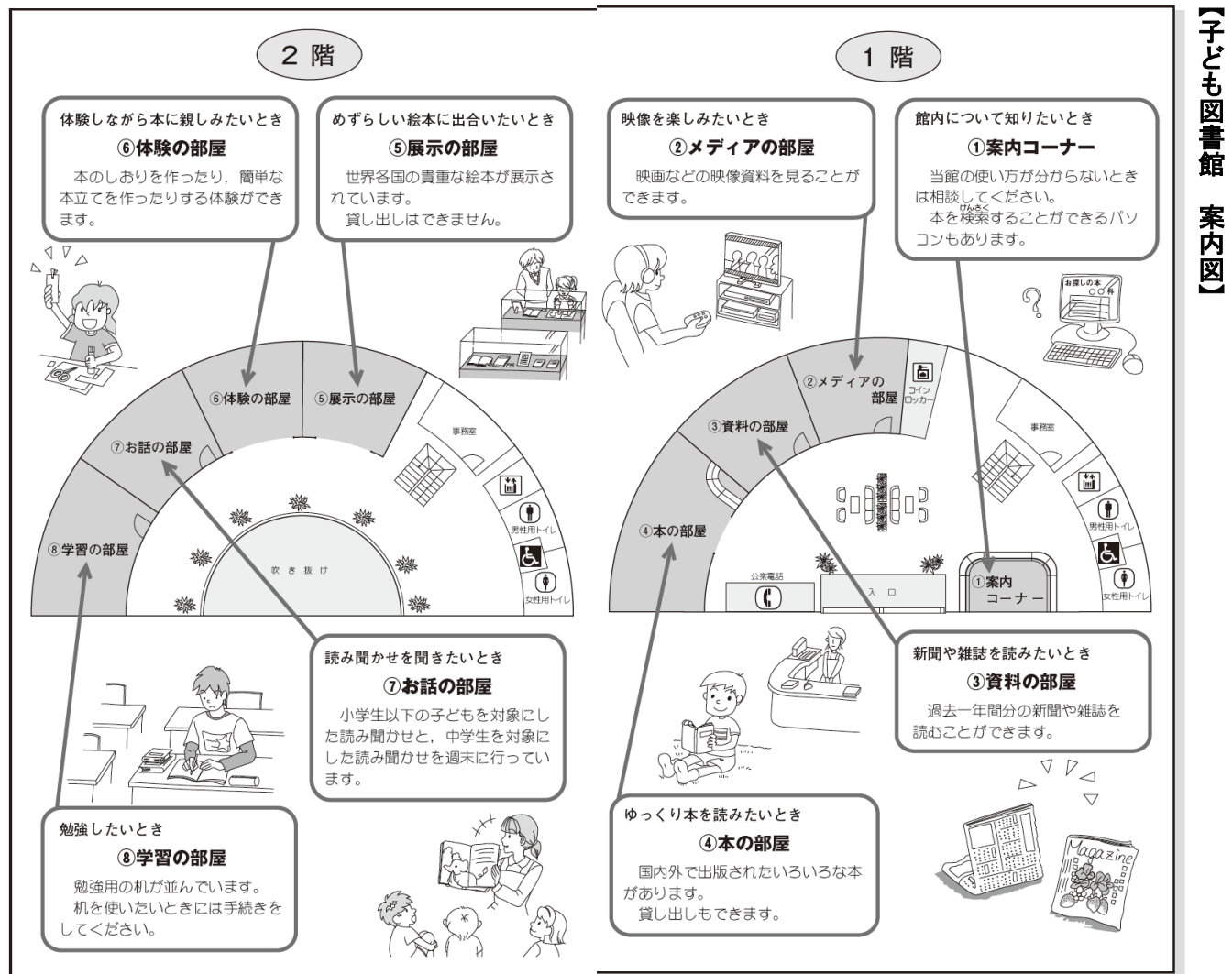
○ 青木さんは、【2】段落を書き直したことによって、——線部「優しく言葉をかけてくれた友達」も書き直さなければならぬと考えました。どのように書き直したらよいですか。「への感謝の気持ちです」に続くように、十字以上、二十字以内で書きなさい。

私が大切にしていること、それは、

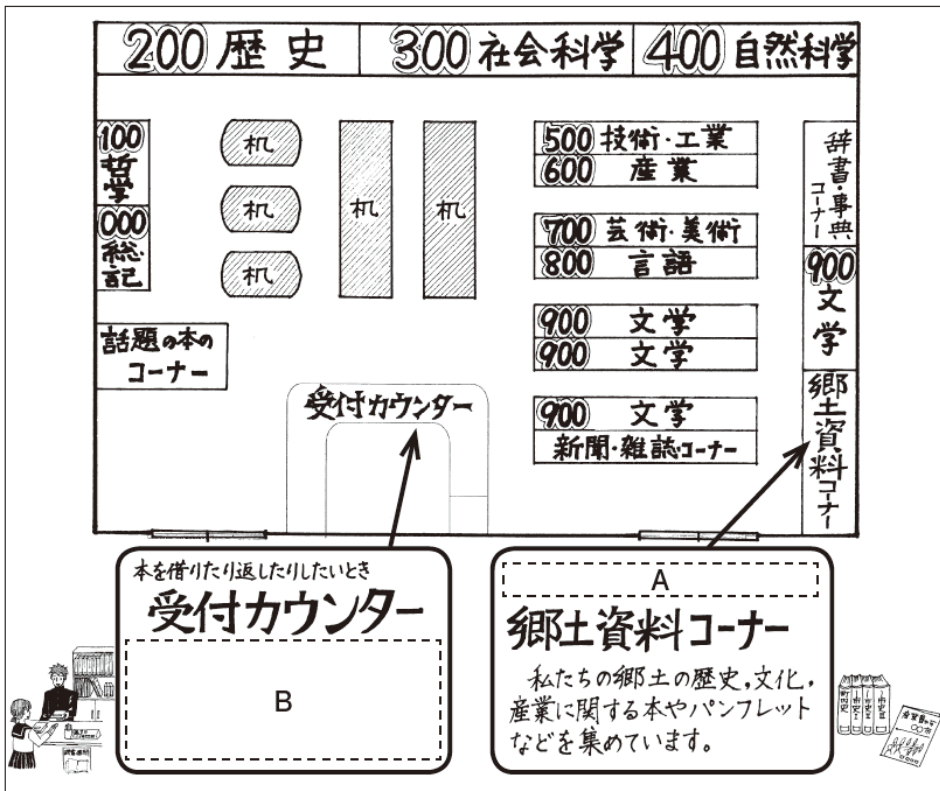
私を支えてくれて、いる多くの人の

への感謝の気持ちです。

[3] 図書委員の山田さんは、先生から紹介された本を借りるために近くの「子ども図書館」に出かけました。次の【子ども図書館 案内図】を見ながら、あとの問いに答えなさい。



【子ども図書館 案内図】



【学校図書館 案内図】

○ 学校に戻った山田さんは、【子ども図書館 案内図】の工夫を学校図書館の案内図に生かそうと考えました。

ア 郷土資料コーナーの【A】には、どのような見出しを書くのが適切ですか。【子ども図書館 案内図】の工夫を取り入れて書きなさい。

(答え A)

【例】郷土について知りたいとき

イ 受付カウンターの【B】には、どのような説明を書くのが適切ですか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 次の《受付カウンターの役割》をもとに書くこと。

- 《受付カウンターの役割》
- ・ 本を借りるための手続きができる。
 - ・ 本を返すための手続きができる。
 - ・ パソコンで学校図書館の本を探ることができる。

条件2 「貸し出し」、「返却」、「検索」という言葉をすべて使うこと。

(答え B)

【例】本の貸し出しと返却の手続きをしています。パソコンで読みたい本の検索もできます。

